



いきいき東っ子



保護者様 東川登小学校便り 第48号

教育目標：「生き抜く力」の育成（「やさしく かしこく たくましく」） 東川登小 HomePage

令和4年3月14日（月） 文責：校長 橋本 良子

花いっぱい感謝の気持ちを伝えたよ

学習の支援や日々の見守りをしていただいている地域の方へお花のプレゼントをするために、12月の中旬に苗を植えて育てていた花が、プランターいっぱいに大きな花を咲かせて満開になりました。これは、全校のみんなが縦割り班で苗を植えて、学年ごとに曜日を決めて毎朝の水やりを欠かさず行い、見事に立派に大きくなったものです。

10日（木）に全校の代表で6年生が、JA、郵便局、公民館、派出所に届けてくれました。6年生は、それぞれにお世話になったことを自分の言葉で、思いを込めてお礼のあいさつをしっかりとすることができました。さすがは、最上級生でした。どこでもとても喜んでいただき、さっそく玄関に飾っていただきました。訪れる地域の方にも花を見て和んでいただけたらありがたいです。



【江口JA支所長さんと】



【川原郵便局長さんへ】



【看板も一緒に】



【江口公民館主事さんへ】

アルミ缶の収益金で車椅子を贈りました

地域から集まったアルミ缶を、毎週金曜日の昼休みに、縦割り班の子どもたちが、まとめて大きな袋に入れてゴミ置き場へ持っていく仕事を行っています。生活・ボランティア委員会が、金曜日の給食時間に作業をする縦割り班グループを放送してくれるので、駐車場に集合していくつかの袋に入っているアルミ缶をまとめてくれます。全校のみんなが当番の日には黙々と仕事をしていて感心です。

そのアルミ缶の収益金をどうするか、生活・ボランティア委員会で話し合った結果、福祉施設である「御船荘」に贈ることになりました。ここ2年間は、コロナの関係で御船荘の訪問ができなかったのですが、5・6年生は、3年生の時に交流を行っていたことを覚えていたのでしょうか。心優しい子どもたちの行動に、あらためて、地域のかたに支えられて成長している東っ子であることを感じることができました。

御船荘では車椅子と一緒に縦割り班で育てたプランターの苗も贈りました。とても喜んでもらい、理事長さんからは、感謝状までいただきました。子どもたちもさらに励みになり頑張ってくれることと思います。



アルミ缶回収の様子



御船荘への寄贈



不二コンクリート株式会社様からの寄贈品

この度、不二コンクリート様から地域教育への貢献ということで、東川登小学校に多くの寄贈品がありました。10日（木）に贈呈式があり、不二コンクリートの入江社長様から目録をいただきました。代表で5年生が受け取ってくれました。いただいた品物は、「入学式、卒業式看板」、机に取り付ける「天板拡張台」、「和太鼓」です。未永く大切に使用させていただきます。



山口琴羽さんと松尾秋馬さんのお礼の言葉

「天板くん（天板拡張台）や式の時に使う看板、和太鼓などたくさんのお礼の言葉をいただきありがとうございます。今まで教科書、ノート、タブレットを広げて勉強していると、ノートが書きづらかったり落としそうになったりして困っていました。天板くんをもらって机が広くなり物を落としたり書きづらくなったりすることがなくなりそうです。大切に使います。看板は長い間使って古くなっていました。いただいた看板のおかげで6年生を送り出すことができます。和太鼓も運動会にも使いたいと思います。ありがとうございました。」

